

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年11月16日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	467010383839
法人名	社会福祉法人 中江報徳園
事業所名	グループホーム サンひまわり
所在地	鹿児島県鹿児島市下伊敷1丁目44番11号 (電話) 099-218-2045
自己評価作成日	平成26年10月15日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成26年11月6日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・職員一同「智恩報徳」を理念に掲げ高齢者が明るく、豊かな生活が送られるよう、その恩に感謝し社会への貢献を目指しています。

・サンひまわりは下伊敷町の国道3号線近くで、交通の便も良く利用しやすい場所に開設されています。近隣には玉江小学校や県立短大もあり静寂な地域に立地し、住環境として適しています。又栄門公民館、玉江校区の行事にも積極的に参加しお客様と地域住民との交流が図られています。

・常勤の看護師を配置し24時間の医療連携体制を取っており日常の健康管理においても安心して施設生活を送っていただけます。

・認知症介護実践者研修を始め施設内外の勉強会や研修に積極的に参加し、お客様の尊厳を守りながらその人らしい暮らしを支援できるよう職員全体のサービスの質の向上に努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

グループホーム「サンひまわり」は社会福祉法人中江報徳園の複合福祉施設のなかの一環であり伊敷町の国道3号線を歩入り、周りには小学校や県立短大などが在る閑静な住宅地に位置し、近隣には商業施設も立ち並ぶ利便性の良い環境のなかに在る。

事業所は町内会に加入し利用者が地域の一員として暮らし続けられるよう行事にも積極的に参加し地域との交流を図りイベントごとの食の楽しみもある。

管理者をはじめ全職員は事業所の理念を充分理解し、勉強会を開くことで気づきの振り返りを行う謙虚な姿勢がうかがわれ、事務所内には利用者や家族との情報の共有が図れるような工夫もみられる。

また運営者や管理者は職員の資格取得にも力を入れ質の向上で利用者へのサービスの支援に努めている。

消防署指導のもと、定期的な避難訓練の誘導には協力医療機関や地域住民の参加もあり、地域がら独自の自主訓練も毎月行い、利用者の安全と安心を守る心得がある。

緊急時の協力医療機関との連携もとれ利用者の人としての尊厳と人格をまもり、楽しく豊かに暮らす場の提供を目指している。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I．理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	玄関、事務所に理念を掲げ職員間で共有しお客様が安心して生活できるよう支援している。	法人全体と事業所独自の理念を掲げ、人生の大先輩の尊厳を大事にし、日々ケアに努めている。年間目標を掲げ法人全体で月1回は理念に対して考えを発表する機会もあり職員は確認し実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会の一員として、地域行事や地域活動に参加している。	町内会に加入し地域行事の六月灯やおはら祭りに職員が参加し利用者は見学している、利用者の得意とするごきぶり団子作りをしたり、職員は資源回収や夜回りなど、事業所自体が地域の一員として交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	認知症の相談所として窓口を開き運営推進会議を通じ地域へ情報発信している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月毎の利用状況、実績、ひやりハット事例を報告し参加者より意見を頂いて改善に向けて努力している。	市町村担当者や民生委員などで開催する運営推進会議は、町内会長の声かけで地域住民の参加もあり活発な意見がでる。ヒヤリハットは気づきに対しての対応策と改善策を論じた結果も報告され、参加者より出席して良かったとの声もある。そこでの意見をサービスに活かしている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村の福祉課や介護保険課主催の会議などには積極的に参加している。	市町村の福祉担当者の所に出向き諸手続きや事業所の取組みを伝え、市主催の地域のケア会議にも積極的に参加している。運営推進会議に出席の際は事業所の中も見てもらい協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	現在身体拘束の対象者はいない。身体拘束の勉強会への参加と日中は入口を開錠し閉鎖的にならないように取り組んでいる。	法人で年一回、事業所でも具体例を示した身体拘束勉強会を開き全職員は禁止の対象となる具体的な行為を理解している。外出傾向の利用者には同行と見守りで対処し、玄関の施錠はせず利用者の自由な出入りを確保している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待の勉強会に参加し職員間で周知徹底を図り、注意し合えるように努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部研修に積極的に参加したり、法人内でも定期的に高齢者権利擁護に関する勉強会を行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に契約書、重要事項等の説明、交付、同意の際の署名押印をして頂いている。面会時や電話での相談にも随時応じている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議に家族代表に参加頂き意見を頂いている。意見箱を各階に設置している。年に1回家族会も行っている。	年一回の家族会前の事前アンケートで集計し家族の思いや要望を聴いているが、日常的には面会時など家族からの意見、希望、また事業所からの伝言を個人のパネルに記し漏れの無い情報の共有を図る工夫をしている。担当者も決め、毎月の便りには写真を同封し参加出来なかった家族にも送られている。家族の思いを運営に反映させる取組みである。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月分科会を行い意見提案を聴く機会を設けている。年に2回は管理者と職員の個人面談も行い考えを聴き、対応している。	各施設ごとの分科会で議題を掲げ意見や提案を聴く機会を設け、法人の委員会にも出席し情報は共有されている。管理者は個人面談も行い意見等も聞き、資格取得にも積極的であり質の向上を図っている。職員は校区の文化祭に出品する貼り絵などにも力を入れ職員意見が反映されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年1回人事評価を3段階で行い個々の努力や実績を公平に評価している。研修案内も随時行っており希望者は参加できる。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	園内外の研修に積極的に参加の機会を与え、知識・技術の習得に努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会の各研修に参加し交流、互いの向上を図っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	これまでの生活環境や経緯を本人や家族から聞き、施設で生活するに当たり要望等を伺い信頼関係を作るよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前にも家族と面談し、施設での生活や対応の説明を行ったり、家族の要望や意見を伺ったりしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人や家族、医療機関や入所前のケアマネージャー等から情報収集を行いカンファレンス等開催して対応している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	お客様の経験や趣味を活かし、日常生活の中で役割を持って頂く事でお互いを支え合っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月「ひまわり便り」でご家族にお客様の近況報告をしている。家族希望時には一緒に外出、外泊し触れ合う時間も作っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会時はゆっくり談話できるよう居室の整理整頓に努めている。又個別に「ふるさと訪問」も随時行っている。	行きつけの理髪店に家族と出かけ桜島に外泊する利用者も居る。「ふるさと訪問」とは本人の食べたい物や行きたい所を訊ね、その場所に連れて行く支援であり、趣味の刺し子や書道に7年通う利用者もいる。知人友人の訪問も多く馴染みの関係が途切れない支援になっている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個性や能力を尊重しレクリエーション、日常生活、行事を通しお客さま同士コミュニケーションが取れるように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了時にお客様やそのご家族に連絡をとったり、入所（入院）先の担当者に情報提供などをおこない経過をフォローしている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活の中でコミュニケーションをとり、お客さんの希望や思いを職員間で情報共有している。意思伝達が困難なお客様に対しては家族よりお元気な時の思いや習慣等の情報収集をして検討している。	一人ひとりの暮らし方の希望を日常会話のなかで把握し困難な場合は家族の情報で本人の希望に沿うようにに検討している。花壇の水かけが困難な時期は生花を活けてもらい、家族に会いたがる利用者には電話をかけるなど個別対応である。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前面談で生活歴を把握し個人プロフィールを作成して情報共有している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活の中で、表情や健康チェックを行いお客様の生活リズムに合わせて過ごせるように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画作成時にはカンファレンスを行いお客様の現状と意思に沿ったケアプラン作成できるようにしている。お客様やその家族の御意向も必ず伺っている。	その人らしく暮らし続けるための介護計画は主治医のアドバイスを含む、本人、家族や全職員らと話し合い、検討され、嗜好や、生活習慣、家族支援も考慮し作成されている。現状と介護計画がかみ合っていない状況には設定した期間の見直しはもちろん、速やかに介護計画の変更がなされている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	看介護記録にケアプランチェック表、検温表等日々の様子を記録し情報共有し、それを基に介護計画作成時に検討している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の状況に問題が発生した時は関係者で、問題解決の為に柔軟に対応できるようにしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の警察、消防署、民生委員等と連絡がとれる体制にあり町内会や地域行事に参加することでお客様の豊かな暮らしを支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	事前面談にてかかりつけ医の希望の聞き取りをしている。かかりつけ医との連携をとり適切な受診が出来るよう支援している。	本人や家族の希望を大切に入所前からのかかりつけ医であり、専門医の受診、往診もある。基本、家族との受診であり帰りには外食を楽しんでいる。家族の都合で職員同行もあり情報の共有を図りながら適切な医療を受けられるように支援している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	お客様の体調変化や気づきの情報を看介護合同の送り等情報共有しお客様に適切な医療が受けられるようにしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時は入院計画書を確認し協力病院の入院病棟師長、担当看護師より情報収集し医療機関との協働が取れている。協力病院の医療連携会議にも毎月出席している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時に御家族様に重度化や終末期に向けた方針の説明をしている。協力病院と連携を取りながら職員全員で情報共有し支援に取り組んでいる。	事業所は看取りの経験もあり、家族とは終末期のあり方について事業所の方針と本人や家族の希望を考慮した段階的な話し合いを行い同意書も交わしている。職員は不安や恐れを無くすための勉強会を年1回開き方針の共有を図り支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事故・急変時対応マニュアルを掲示し職員全員で事故や急変に対応できるよう努めている。分科会などで初期対応についての勉強会を行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	毎月 1 回防災訓練を実施し、気づきや反省を検討している。又地域の防災係とも連携を取っている。	近隣が商業施設のため避難訓練への参加はないが、町内の地域住民との連携は取れ、自主訓練も毎月実施している。居室の入口には非常時に備え、水タオルや安否確認のマグネット名札を落とす工夫もあり、2階の重度化した利用者の入れ替えや、備蓄の再検討をしている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ゆっくり丁寧な言葉使いに心掛けプライバシー保護の為入浴、更衣、排泄時はドアの開閉に気をつけ対応している。	利用者の人格や誇りを損ねない声かけや言葉つかいに細心の注意をはらい、年2回、接遇の勉強会を開き、事務所のなかにはホームとして3ヶ月ごとの処遇の目標を掲げている。声のトーンや職歴、生活歴に配慮した対応であり、個人情報も管理者で守られている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人の思いや希望を伝えやすい雰囲気を作るよう努め食事、入浴時も本人の意思を尊重している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お客様のペースに合わせゆっくり声かけをし、又希望に添いながら支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	お客様の好みを尊重し季節やその時に合ったおしゃれや身だしなみが出来るよう清潔に整えている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個々に合った調理準備や片づけを手伝っていただいたりメニューの説明や楽しい雰囲気作りに努めている。	法人の管理栄養士の指導のもとバランスを考えたメニューであり、食前は体の体操や嚥下体操をしている。朝食の時間も自由で部屋食希望の利用者もあり、行事食や花見弁当をとり皆で楽しむ機会もある。利用者の力量に合わせた手伝いもしている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスを考慮したメニューを作成し個々に適した食事形態で提供している。水分量も記録しその確保に		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを声かけや介助にて実施している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	時間おきにトイレの声かけをしトイレで排泄できるよう支援している。	排尿は一日の行動を把握して誘導し、排便はチェック表で確認しながら声かけしている。リハビリパンツから布パンツに改善された利用者もあり、トイレでの排泄の自立に向けた支援である。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェック表を作成し毎日の排便状態を把握。腹部マッサージや投薬などで排便コントロールをしている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	お客様が嫌がられた場合や体調不良時は無理をせず更衣や清拭などで清潔に努めている。	週3回の入浴であるが、本人が希望すれば毎日入浴や、時間帯も希望に合わせている。異性介助も本人に確認し、体調とタイミングをみて足浴もある。シャンプー・リンスも好みの物を使い入浴剤を入れたり入浴を楽しめる支援となっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の体調に合わせて、居室で休息して頂いている。居室の明るさや温度も考慮している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	誤薬や飲み忘れがないよう、薬の文献書と確認表を個別にファイルを作成し支援している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	施設内でのレクリエーションや季節ごとの行事を通し日々の生活の張り合いや喜びにつなげるように支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	体調や天候を考慮し本人の希望に沿って外出している他、ご家族にも協力して頂き気分転換の為外出できるよう支援している。	近隣のスーパーに買物に出かけ、気候の良い日は回覧板を持って町内を回ったり、コスモス園などの散策も楽しんでいる。敬老の日は水族館に出かけ、おはら祭りの見学も楽しみの一つになっている。家族の協力をもらいながら墓参りや「ふるさと訪問」など、戸外に出かけられるように支援している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	少額の現金をご自分で持っていて管理したり、希望の物を購入するのに使っているお客様もおられる。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	家族の協力のもと、お客様の希望時に連絡できるよう支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	施設内の清掃整理整頓に努め、季節を感じられるように花や絵、置物で工夫している。	対面式キッチンを目の前に食堂兼リビングはあり、ベランダ菜園と花壇のプランターを眺められる。食堂は季節の花が活けられ、壁面には利用者の書道や職員との合作の大型ちぎり絵で飾られている。トイレも清潔であり夜間誘導のため足元センサーも取り付け、畳の間も整理されている。利用者が思い思いの形で過ごせる共有空間である。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ひとり一人の個性を尊重し気の合う方同志を近くに座って頂くように工夫している。ゆっくり過ごせるスペースの確保もしている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	お客様の思いを傾聴したり、面会時ご家族の意向を伺い居心地の良い部屋づくりを支援している。	使い慣れた物を持ち込んだ居室は利用者の使いここの良いように置かれ、窓は寒暖差を無くす、ペアガラスや遮光カーテンが取り付けられている。居室が分からない利用者の入口は風船で目印を付ける工夫もみられる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりや引き戸を配置して自立支援を促し、名札や案内板で場所がわかるようにしている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない